

石井 貴士 著 Takashi Ishii

人は誰でも候補者になれる！

政党から公認をもらって国会議員に立候補する方法

Forest  
**2545**  
Shinshyo



えっ？ まさか、  
私が国会議員に立候補？

「自分が国会議員に立候補するなんて、一生ありえない！」

「まさか、国会議員になろうだなんて、夢にも思ったことがない」

おそらく、この本のタイトルを見たあなたは、そう思ったのではないのでしょうか。その気持ち、痛いほどわかります。

何を隠そう、私もその一人だったからです。

私自身、政治には、これっぽっちも興味がありませんでした。

NHKの『日曜討論』などの政治番組なども「どうせ議論したって日本が変わるわけがないんだから、見るだけ無駄だ」と思って、見たこともありませんでした。

テレビで政治の話題が出て、時間の無駄だと考え、すぐにチャンネルを切り替えていました。

政治家という「人種」に対しても、「政治家なんて、どうせ全員、政治献金という名前のワイロをもらっているんだろう？」と違って、最初から嫌いでたまりませんでした。

どうせ政治なんて変わらないに決まっている。

そもそも、人類の歴史上、正しい政治が行われたことなんてあるのだろうか？

いつの時代も癒着ゆちやくの構造は変わらないし、官僚は天下りを続けるに決まっている。

日本において、税金が無駄遣いされなかったことなんて、一度でもあったっけ？

ないよね？

だから、政治なんて、大嫌い！

これが、政治に対する、偽らざる自分の気持ちでした。

そんな私が、まさか、2012年の衆議院議員総選挙（以下衆議院選挙）に立候補するなんて、夢にも思いませんでした。

政治に興味がない、政治家が嫌い。

そんな私が突然、公認候補になり、選挙期間中は、マイクを片手に、涙を流しながら、**熱く政策を語っていました。**

だから、あなたにも、同じことが起こる可能性があるのです。

あなたも、国会議員の候補者になって  
しまいう可能性がある！

「何を言っているんだ。自分が立候補するなんて、あるわけがないだろう」  
「私に限って、絶対に選挙に出るなんてあり得ない！」

そう思っているあなたこそ、いきなり立候補する可能性がある張本人です。

人生には、「まさか」が起きます。

私にも「まさか」が起きたのです。

だから、現実として、あなたにも起きてしまう可能性があるので。

「でも、この本の著者の石井貴士という人間は、実際には受かっていないんだろう？ 落ちた人の話を聞いて、何か役に立つとでも言うのか！」という厳しい意見をお持ちの方もいらっしやるでしょう。

ですが、この本は、落ちたからこそ書けた本なのです。

受かっていたら、自慢話になってしまいますし、自慢話なんて、あなたも読んで不愉快になるだけなのではないでしょうか。

落ちたからこそ、熱い気持ちが残っていて、書ける本もあるのです。

あなたもさつと立候補してしまおう！

ここで、あなたに勝負を挑んでもいいでしょうか？

「自分が国会議員に立候補するなんて、一生ないんだろうなあ」

そう思っているあなたが、この本を読んだ後に、

「まずい。自分も立候補してしまいそうだ。公認候補になれてしまいそうだ」と思っていただけたら、私の勝ち。

逆に、「この本を読んでも、ちっとも立候補したいと思わなかったぞ」と思ったら、あなたの勝ちで、私の負けです。

どうですか？

この挑戦、受けてみませんか？

正直、ものすごく勝つ自信があります。

なんととっても、まったく政治に興味がなかった私が、「立候補するのが当然だ」「国会議員に立候補しないほうがおかしい」と思ったわけですから。



国会議員に立候補するには、学歴も資格も関係ありません。

国会議員になるには、残念ながら、頭の良さも関係ありません。

ぶっちゃけ、あなたよりも頭が悪いと思う国会議員は多いと思いませんか？

ならば、あなたのほうが国会議員に向いています。

ルックスも関係ありません。

実際に、イケメン・美女の国会議員は少ないですよ？

いや、あなたがルックスで勝てる相手のほうが多い世界なのではありませんか？

ならば、あなたが国会議員になれば、イケメン議員・美人議員として扱われる可能性だけあります。

もしかしたら、「私にはひとつも取り柄とがないんです」という方もいるかもしれません。

でも、候補者の中には、働く気力がなくて、何年も無職なのに、「僕はニートを代表して、

ニートの気持ちを代弁する国会議員になります」という人もいるのです。

そういった方に比べたら、あなたのほうが社会人として実績があつたりするので、国会議員としての適性は勝まさっているのではないのでしょうか？

国会議員になるために必要な、  
たったひとつの条件とは？

国会議員になるために必要な条件。

それは、衆議院議員は25歳以上、参議院議員は30歳以上。

ただそれだけなのです（もちろん、日本国籍を有すること、というのがありますが……）。

「そうは言っても、国会議員の仕事は大変なんだろう？ 自分には務<sup>つと</sup>まらない」と思っている方もいるかもしれません。

確かに、大臣クラスになれば、ものすごい激務です。

休む暇など、ないかもしれません。

ですが、実は、国会の会期は、年間150日。

つまり、365日の半分以上は開催されていないのです。

一週間単位で見ても、火曜日・水曜日・木曜日のお昼過ぎまでと、金曜日の午前中しか国会は開催されていないのを知っていましたか？

そう。金曜日のお昼過ぎと、土・日・月は休みなんです。

実働3・5日、週休3・5日。年間150日の労働で、残業だって特になし。  
それでいて、年収3000万円以上！

これなら、公務員や会社員よりも楽だとは思いませんか？

その待遇を得るチャンスが目の前に迫っているのに、あなたはただ気付いていないだけ  
だとしたら、どう思いますか？

あなたも政党の  
公認候補になれる時代がやってきた！

「そうはいつでも、政党の公認候補になるなんて、難しいに違いない」

こう思っている方も多いでしょう。

確かに、自民党であれば、世襲候補ですでに決まっている場合があったり、市議会議員、県議会議員の方が、そのまま公認候補になるケースも多いのです。

ですが今は、その自民党でも、選挙区によっては候補者を「公募」で広く募集しているところもあります。

もちろん、正直なところ、出来<sup>でき</sup>レースの公募もあるでしょうが、そうではない公募もある以上、必ずあなたにもチャンスはあるのです。

さらには、今は、あなたもご存じのとおり、政党が乱立している時代です。

2012年の総選挙に至っては、13の政党が乱立した選挙戦でした。

衆議院は小選挙区で300の選挙区があります。

13の政党は、基本的にはすべての選挙区に候補者を立てたいと思っ<sup>て</sup>いますので、本来

は13×300で、3900人の候補者を必要としていたのです。

かつての「自民党・民主党の二大政党制」時代であれば、定員は600人で、すでに現職の方も多いので、公認候補者になるためには、大変な倍率だったかもしれません。

ですが今は、政党の乱立により、「候補者が足りない」「とにかく候補者がほしい」という時代に突入しているのです。

それでいて、小選挙区制では、候補者の人格はほとんど関係なく、その政党に「有利な風」が吹けば、その政党の候補者であるという理由だけで、受かる仕組みになっています。（もちろん、個人的には残念ではありますが、現在の選挙制度が小選挙区制なので仕方がありません）

1946年の戦後初の総選挙は、終戦直後の混乱期でもあり、「ガラガラポン」で政治家が入れ替わる時期だったので、いきなり立候補して当選する人が多くいました。

それと同じく、今もまさに政治は混乱期を迎えているのです。

なので、いきなりあなたが立候補して、偶然にも国会議員になってしまうということは、起きうるのです。

受かるかどうかの基準は、「選挙戦12日間で、どう風が吹くか？」だけ。  
ひとつの小選挙区で、候補者は多くても6人くらいなので、当たる確率は、宝くじよりも高いとは思いませんか？

あなたには、無限の可能性がある！

それでいて、日本を変える、やりがいがある仕事を得られるのです。

あなたには無限の可能性があります。

あなたがフリーターであれば、フリーターの気持ちが一番わかってあげられる議員にな

る可能性を秘めています。

あなたがシングルマザーであれば、シングルマザーにとって暮らしやすい世の中を作れる議員になる可能性があります。

「でも、僕なんて給料も低いし、モテなくて彼女もできたことがないんだぞ。こんな僕が国会議員に立候補できるはずがないだろう！」という方もいるでしょう。

ですが、そんなあなたは、「給料が低くてモテない人にも希望の持てる未来を！」という素晴らしい政策を掲げる議員になる可能性を持っているのです。

そう。国会議員に立候補しようとした瞬間に、あなたの持っている短所は、すべて長所に変わるのです。

「俺はイケメンでモテモテだ！ お金持ちだぞ」「私は美人で、人生で苦勞したことがないわ」という方であれば、そのまま生きていくことに不便ふべんは感じないでしょう。



ですが、「人生であまりいいことがなかった」「自分なんて、何をやってもダメな人間なんだ」と思ったことがあるのであれば、そんなあなたこそ、世の中を変えるために生まれ  
てきた人間なのです。

私自身、恥ずかしながら、今でも短所ばかりの人間です。

小学生時代は勉強もできなかったですし、社会人になってからも、失敗だらけの人生を歩んできました。

ですが、それだからこそ、「世の中を変えよう！」という思いが湧いてきて、候補者になることができたのです。

「早く知りたい！ 石井さんはどうやって公認候補になったんですか？」

「政治に詳しくなくても公認候補になるなんて、できるの？」

はい。わかりました。

では、政治家になることに興味がないあなたを、政治家になりたいあなたに、ドンドン

変えていきましよう！

この本を通じて、あなたが「自分の可能性は無限大なんだ。今までダメだった自分こそ、立候補できる可能性を秘めた人間なんだ」と思っていただければ、これほどうれしいことはありません。

作家 石井貴士

# まえがき

えっ？ まさか、私が国会議員に立候補？—— 3

あなたも、国会議員の候補者になってしまう可能性がある！—— 6

あなたもきつと立候補してしまう！—— 7

国会議員になるために必要な、たったひとつの条件とは？—— 10

あなたも政党の公認候補になれる時代がやってきた！—— 12

あなたには、無限の可能性がある！—— 15

## 第1章 人は誰でも候補者になれる！

政治に詳しくなくても、候補者になれる！—— 26

学歴・資格がなくても、候補者になれる！—— 32

## 第2章 国会議員って、どうやってなるの？

国会議員を一生続ける覚悟なんかいらない！—— 42

特に政治理念がなくても、立候補できる！—— 48

衆議院選挙・参議院選挙の仕組みを理解しよう—— 58

無所属ではなく、政党の公認候補になろう—— 63

自民党などの大きな政党の公認候補になるには？—— 66

政党の方はいい方ばかりなので、気軽に公認候補に申し込んでみよう—— 74

公認候補になるウルトラCとは？—— 77

一度選挙に出たら、次の選挙ではかなり有利になる！—— 81

インターネットでの選挙運動が解禁されれば、あなたにも奇跡が起きる！—— 84

### 第3章

私はこうして公認候補になった！

立候補のきっかけは、シャーマンの言葉!?——92

自民党の北海道第1区に応募したのが始まり!——100

選考に落ちて初めて、「議員になりたい」と思った!——104

ことごとく書類審査落ち。しかし決まるときは一瞬!——109

公示日前日が、一番忙しい!——124

### 第4章 選挙に出るにあたっての基礎知識

衆議院と参議院の、供託金はいくら?——132

すべての選挙費用は、いくらかかるの?——137

## 第5章 選挙期間中は、こんな流れ！

選挙活動中に、出前はとってはいけない！——143

自分の選挙カーが2台以上走っていたらアウト！——147

「桃太郎」は選挙違反でも捕まらない——155

公示日当日に、なんと「1番」を引いた！——165

12月5日（水）～8日（土）ハプニングから始った選挙活動！——169

12月8日（土）、9日（日）証紙がやっと貼り終わる！——175

12月10日（月）初の応援演説＆街頭演説が上達し始める！——176

12月11日（火）小沢一郎先生がサプライズ訪問！——178

12月12日（水）インターネット上でのみ、支持率が上昇！——179

12月13日（木）たのもしい応援演説！——181

12月14日（金）出身地回りを中心に！——183

## あとがき

12月15日（土）選挙運動の最終日！——186

12月16日（日）投票日当日！——188

1日に5回も泣いた日——194

あなたには無限の可能性がある！——197

- フォーマットデザイン／Panix（斎藤啓一）
- カバー・本文デザイン／松川直也
- DTP／野中賢（システムタンク）